資料2-3

第22回　丹生ダム建設事業中止に伴う地域整備協議会

# 地域整備実施計画に係る実施状況

令和８年11月13日

滋賀県　流域政策局

長浜土木事務所木之本支所

# 高時川中上流部の河川整備について

# 高時川中上流部における整備方針



令和4年8月出水を踏まえ、下流への流量負担増とならないよう以下の3段階にて、下流の改修完了を待つことなく中上流部の整備に着手することで、菅並・上丹生・下丹生・大見地先における治水安全度の早期向上を図る。

**①緊急対応**

下流への流量負担増とならないことが確認できた箇所について、浚渫・掘削を実施

**②暫定対応**

家屋の浸水被害を軽減する暫定的な整備メニューを実施（R4.8出水規模で床上浸水から床下浸水へ軽減）

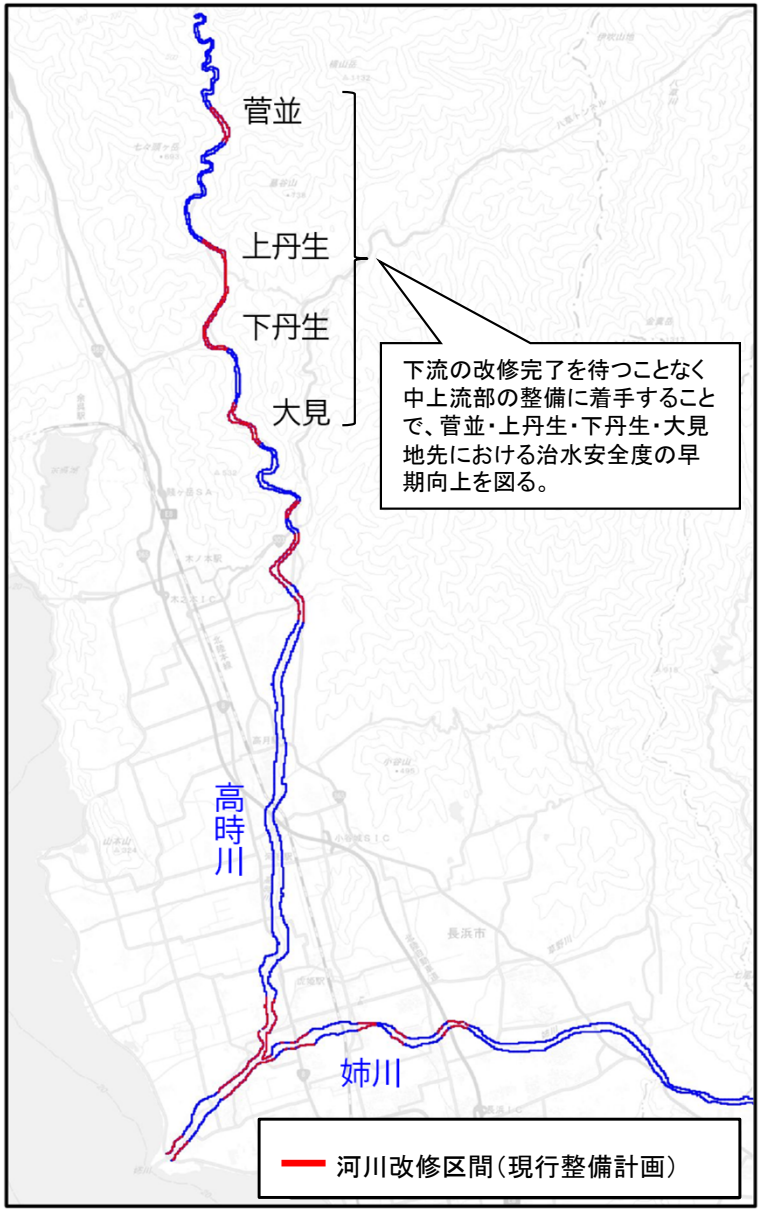
**③整備計画対応**

現行整備計画に位置付けた整備メニューを、下流の改修完了を待つことなく順次進める
（R4.8出水規模で床下浸水を解消）

■整備目標について

・高時川中上流における令和4年8月出水の実績相当の流量を安全に流すためには、現行整備計画からさらなる河道改修が必要となり、全体事業量が大幅に増え、改修完了までに更に多くの時間を要する。

・従って治水安全度の早期向上を図ることを優先し、整備手順の工夫を行うことで、まずは現行整備計画に位置付けた整備メニューを加速させる。



# ①緊急対応、②暫定対応について



## ①緊急対応：下流への流量負担増とならないことが確認できた箇所について、浚渫・掘削を実施

| 地区/整備メニュー | | 菅並地先 | 上丹生地先 | 下丹生地先 | 大見地先 |
|---|---|---|---|---|---|
| ①緊急対応 | 内容<br>場所等 | ・中川原橋下流右岸の<br>部分掘削 | ・大宮橋下流の浚渫 | ・平篠橋上下流の浚渫 | ・医王寺橋上流から部分掘削 |
| | 期間<br>（予定） | ・R6.6完了済 | ・R6.3完了済 | ・R6.3月完了済 | ・R6～：用地<br>・R9以降：工事 |
| | 効果 | （R4.8出水に対して）<br>・浸水深　0.2m低下 | ・流下能力の向上 | ・流下能力の向上 | （R4.8出水に対して）<br>・浸水深　0.4m低下 |

## ②暫定対応：家屋の浸水被害を軽減する暫定的な整備メニューを実施（掘削＋築堤）

・R4.8出水時で被災した菅並、上丹生・下丹生、大見について、同出水に対して床上浸水から床下浸水へ軽減。

| 地区/整備メニュー | | 菅並地先 | 上丹生地先 | 下丹生地先 | 大見地先 |
|---|---|---|---|---|---|
| ②暫定対応 | 内容<br>場所等 | ・中川原橋上下流左岸の築堤<br>・貯留施設 | ・大宮橋上下流右岸の築堤 | ・平篠橋上流右岸の堤防嵩上げ<br>・河道掘削 | ・大見橋下流の河道掘削<br>・大見橋架替の検討 |
| | 期間<br>（予定） | R6～7年度：貯留施設予備設計<br>R7～8年度：貯留施設詳細設計<br>R9以降：用地、<br>貯留施設工事、<br>築堤 | R6年度：設計業務<br>R6～8年度：用地<br>R9以降：用地、築堤 | R6～8年度：設計業務、用地、<br>堤防嵩上着手<br>R9以降：用地、<br>堤防嵩上（残工事） | R6～7年度：橋梁予備設計、<br>測量<br>R7～8年度：橋梁詳細設計<br>R9以降：大見橋工事、<br>現橋撤去 |
| | 効果 | ・床上浸水 2 戸　→　床下 1 戸 | ・床上浸水 4戸 → 床下 3 戸 | ・床下浸水　1戸　→　浸水解消 | ・床上浸水　2戸　→　浸水解消 |
| | | 浸水深　0.70m　→　0.14m | 浸水深　1.09m　→　0.30m | 浸水深　0.27m　→　0.00m | 浸水深　0.37m　→　0.00m |



※地図データ（ﾒｯｼｭﾃﾞｰﾀ）での浸水シミュレーションのため、実績の浸水深と一部相違があります。

# ③整備計画対応について



③整備計画対応：現行整備計画に位置付けた整備メニューを実施（掘削＋護岸＋大見橋架替）

●STEP1：大見地先の整備＋中上流部の貯留施設整備

| 地区/整備メニュー | | 大見地先 | 高時川中上流部 |
|---|---|---|---|
| ③整備計画 | 内容<br>場所等 | 護岸整備、河道掘削、<br>大見橋架替 | 貯留施設整備 ※<br>（下流への流量負担を生じないように中上流の河川整備を進めるための施設） |
| | 着手時期 | ②暫定対応と並行して実施 | ②暫定対応の終了後 |
| | 効果 | 浸水家屋の解消 | 下流の改修完了を待つことなく中上流部の整備に着手できる |

※姉川（下流部）および高時川下流部の進捗度を考慮した、貯留施設の整備を計画する。

●STEP2：下丹生・上丹生地先の整備

| 地区/整備メニュー | | 下丹生・上丹生地先 |
|---|---|---|
| ③整備計画 | 内容<br>場所等 | 下流から護岸整備、河道掘削 |
| | 着手時期 | STEP1（下丹生地先）の終了後 |
| | 効果 | 浸水家屋の解消 |

●STEP3：菅並地先の整備

| 地区/整備メニュー | | 菅並地先 |
|---|---|---|
| ③整備計画 | 内容<br>場所等 | 下流から護岸整備、河道掘削 |
| | 着手時期 | STEP2の終了後 |
| | 効果 | 浸水家屋の解消 |

位置図

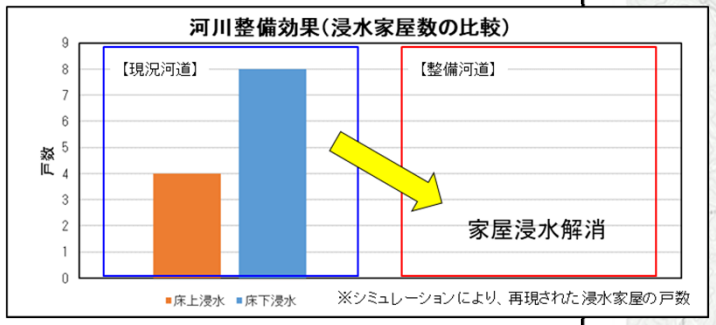


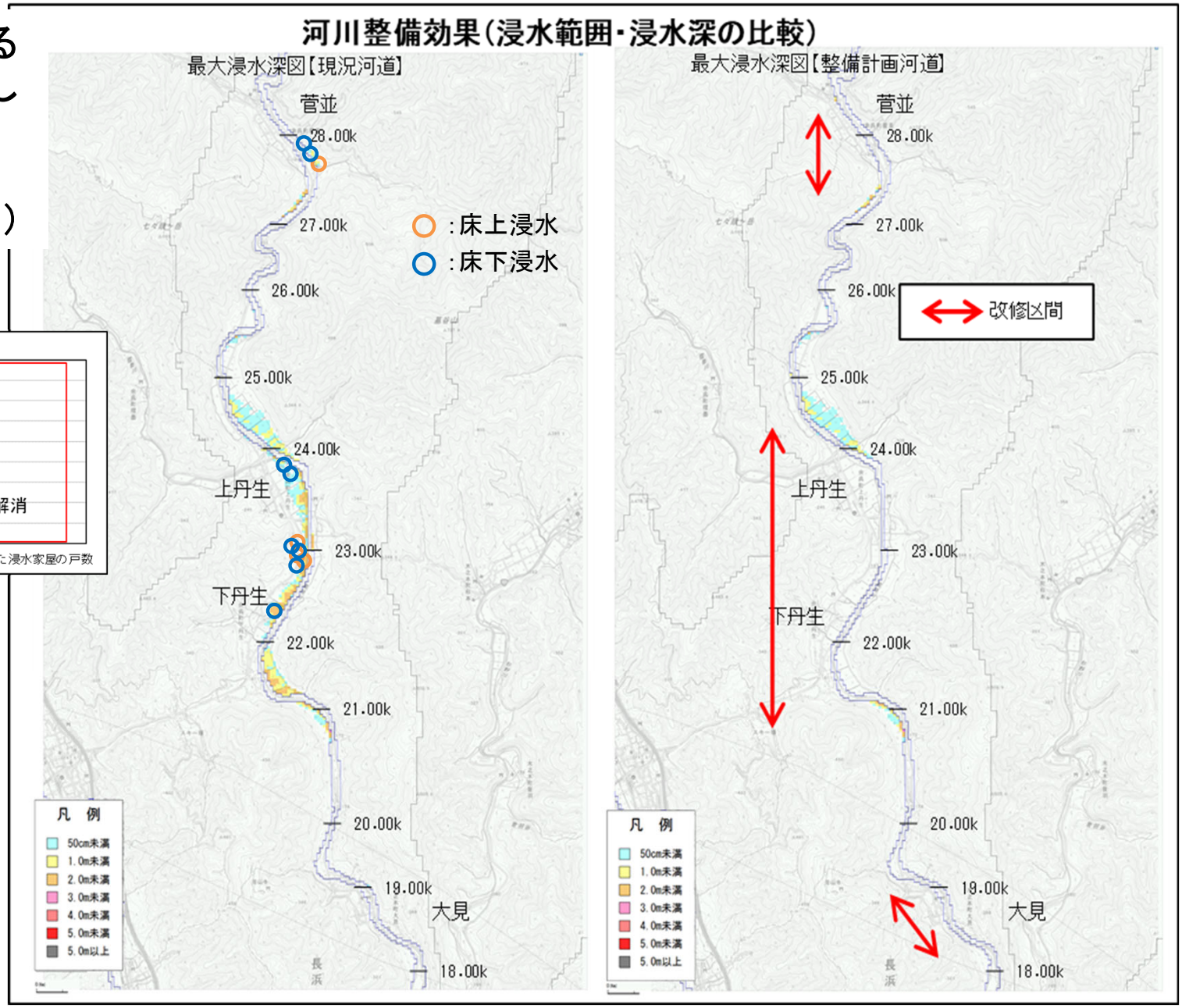

⇒4地先の床下浸水を解消

# 令和４年８月出水に対する河川整備効果



・中上流部の整備を完了することで令和4年8月出水に対して、家屋への浸水被害の解消を確認。
（シミュレーション結果による）




※地図データ（ﾒｯｼｭﾃﾞｰﾀ）での浸水シミュレーションのため、大見橋の流木による浸水と相違があります。

## ⑭－２　残存山林の維持管理

## ⑭－３　買収済み用地の維持管理

# 「（仮称）琵琶湖淀川源流余呉の森」保全・活用について

# 「（仮称）琵琶湖淀川源流余呉の森」保全・活用にかかる連携・協力について

「（仮称）琵琶湖淀川源流余呉の森」の生物文化多様性の保全と活用に取り組むため、県・長浜市・滋賀県立大学・長浜バイオ大学・成安造形大学の5者が連携・協力に関する協定を締結しました。

【「（仮称）琵琶湖淀川源流余呉の森」保全･活用にかかる連携･協力に関する協定締結式】

■日　時　令和８年11月３日（火）16:30～17:00
■場　所　ウッディパル余呉　森林文化交流センター（長浜市余呉町中之郷295）
■出席者　三日月知事
長浜市長
滋賀県立大学理事長
長浜バイオ大学理事長
成安造形大学理事長



【資料2-3】-7

【余呉地域トチノキ巨木群生地視察】



協定締結式に先立って、三日月知事、県関係部署職員、地元関係者、大学関係者らで、山里の文化や暮らしの営みの中で残されてきた、貴重な巨樹･巨木林が残る高時川源流地域を訪れ、「高時川源流の森と文化を継承する会」の案内により県内最大級のトチノキ巨木群生地の視察を行いました。